

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2018年 10月



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2018年 10月1日発行 通巻306

**重大事故・多発！
対策の検討をしよう！**

10月号目次

・ 目次	2
・ 9月理事会報告	3
・ ちばニュース交流会報告	5
・ 山行報告・仙丈ヶ岳	7
・ 重大事故発生報告	10
・ 事故防止交流集会案内	11
・ 国際山岳看護師「みつちゃん」活動紹介	12
・ 県連海外委員会たより	14
・ 全国ハイキング集会参加報告	15
・ 全国登山者研究集会	17
・ 県連たより	19
・ 10月・11月予定表	20

表紙紹介

山の会「岳樺クラブ」小林さんの「雲の上の診療所」での活動報告の中にある、「槍ヶ岳山荘」のへりによる荷揚げのワンショットです。

荷物の中のビールの多さに驚いたそうです。

高所での飲酒が危険な事は、身に覚えがある方も多いと思います。

(飲まないのが一番、飲むために山に行く人は反省して下さい)

——編集者——

千葉県連 9月理事会報告

千葉県連理事会を下記の通り実施しましたので報告します。

1. 実施日時 2018年9月20日(木) 19時～20時30分
2. 会場 船橋市西部公民館
3. 参加会 ちば山の会 茂原道標山の会 船橋勤労者山の会 松戸山の会
東葛山の会 千葉こまくさハイキングクラブ
千葉民医連山を歩こう会 山の会「岳樺クラブ」
かがり火山の会 岳人あびこ ふわくハイキングサークル
市川山の会 まつど山翠会 まつど遠足クラブ 1年さくら組
- 役員 広木会長 古瀬顧問 鶴田副理事長 小林会計担当
伊東教育遭難対策委員長 桑原ハイキング委員長 菅井自然保護委員長
- 臨時出席者 岡田ふれあいハイク実行委員長

4. 議題・討議事項

1) 各委員会報告

①教遭委員会

- ・事故報告：千葉県連では8、9月の事故発は無かったが、全国では5件の死亡事故が発生した。
- ・「2018事故防止・経験交流集会」の案内

実施日 11月10日(土)～11日(日)

場所 富津市民の森 富津市富岡 2785-1 ☎0439-68-0929

申込先 教遭委員会 廣川：hirokawa2583@yahoo.co.jp

締切 10/28 090-6122-8354

②ハイキング委員会

- ・第21回全国ハイキング交流集会に参加した。
9月15日(土)～16日(日) 静岡県伊豆の国市
14県29会75名が参加(千葉県連から3名参加)。
参加者：桑原自然保護委員長 他2名

③自然保護委員会

- ・関東ブロック自然保護交流会が、9月1日～2日茨城県奥久慈で開催された。千葉県連からは「鴨川メガソーラー建設計画問題」について報告と支援のお願いを行った。
参加者：広木会長 菅井自然保護委員長 小林自然保護委員
- ・第17回全国登山研究集会が11月23日(金)～24日(土)愛知県で開催される全国研究集会の分科会で自然保護集会を予定している。

④女性委員会 12月に「ワンコイン講習会」開催の予定。

⑤海外委員会

「海外登山活動に関するアンケート調査」の集計結果がまとまり現在の使い方を検討中である。

⑥会長報告

死亡事故の速報と注意喚起のメールを各会に発信した。

岩場・沢登りなど危険個所の山行には十分な対策をお願いする。同時に「労山山岳事故対策基金」の口数の見直しも必要でないか。

⑦「第17回ふれあいハイク」の説明

岡田実行委員長から説明があった。共同装備の要請があり担当会を確認した。「背負子」4台、車椅子のサポート担当者はシュリング、ロープ、カラビナを用意する。

雨天決行 自分で判断しない事、「科学技術館」見学を予定。

2) 県連課題の検討報告

①「ちばニュース交流会」の報告

8月30日(木)に開催された会議結果を今後の活動に生かしていく事を確認した。

②交流山行について

・「ちば山の会」からの提案を検討し実施を確認した。

日時:11月3日(土)~4日(日)

行先:紅葉の奥多摩歩き 雲取山系・天平尾根でんでーろおねを歩く。

三条の湯泊(小屋泊・テント泊)。

③クライミング講習会等で講師の経費負担についての質問があった。

県連予算(講習会費用)からの支出も可能である。

以上

(文責 東葛山の会・羽鳥県連理事)

2019年 労山カレンダー 購入案内について

例年お願いしています「労山カレンダー」購入についてお知らせをします。

・申し込みは:例年どおり、全国連盟事務局 にお願ひします。

・Eメール jwaf@jwaf.jp

・FAX 03-3235-4324

・同時に、県連のまとめ役 羽鳥 県連理事にも連絡をお願いします。

(支払は県連一括で行うため、指定口座に振り込みをお願いします)

事務局不在のため、本来は事務局で担当する仕事を県連理事や各会の協力者で分担する事になりました。

他の事務局の仕事についても、担当していただける方を募集しています。

ご協力をお願いします。

ちばニュース交流会 報告

ちばニュースに関する、交流会を実施しましたので下記のとおり報告します。

記

- 1、実施日 2018年9月12日(木) 19時より
- 2、会場 船橋市西部公民館 第4会議室
- 3、目的 ちばニュースに対する、会の広報担当者や会報担当者の意見・要望を出してもらい、ちばニュースが全会員に読まれる内容にする。
- 4、参加人数 14会・25人
- 5、議事録 (同種の意見はまとめました)
 - ① ちばニュースの内容について
 - ・役に立つ内容が無く、興味が持てない、面白くない(3会から)
 - ・事故が多くなっているだけでなく、具体的な内容と注意勧告をしてほしい。
 - ・千葉の山の情報がほしい。山行報告は参考になる
 - ・理事会報告は毎月載せてほしい。
 - ・全国・県連情報を充実させる。終わってからそんなのあったのでは困る。
 - ・会員が必要としている情報を載せる、現行は役員向きの情報である。
 - ・会や会員からの投稿記事を増やしてほしい。会報担当者から投稿してもらおう。
 - ・会報の山行予定、記録は自主的に投稿してもらおう、記事の要求はしていない。
 - ・情報誌なので県連の内容を伝えれば、面白くなくても良い。
 - ・趣味の世界なので編集者が記事を選択し掲載すれば良い、読み手が判断する。
 - ・千葉のローカル色を出すには限界があるが、記事を書きたい人もいると思う。
 - ・会員に身近な情報や興味がある記事を連載形式で載せる。
 - ・会にはホームページがあるので、内容によっては無駄になる記事もある。
 - ・登山技術記事は、ちばニュース以外の方法でも情報を共有できる。
 - ② 発行に関する事
 - ・毎月発行してほしい、毎月発行する事が大事。毎月発行を守ってほしい。
 - ・毎月発行しなくても良い。急ぎの伝達はメールで出来る。
 - ・やる人(担当者)がいれば、発行には反対しない。
 - ・負担にならない方法でやるべき。
 - ・中堅会員は仕事が忙しい、発行をやる人が出てくるのか。
 - ・毎月の理事会で、ちばニュース編集のバックアップをしたら良い。
 - ・ちばニュースは、会員と県連のつなぎとなってほしい。
 - ・ちばニュースには、活動記録としての役割も有る。
 - ・会員からの投稿をふやしてほしい、各会の現状や情報を知る事ができる。
 - 発行体制・発行人については、ちばニュースが必要か、内容などについての討議を優先した事、時間がなかった事で十分な討議は出来なかった。

③ 発行・配付について

【毎月初めに、全会（会代表者・県連理事）にメールで配信している】

- ・印刷して会報と一緒に全会員に配布している。（郵送）
- ・メールで配信しているが、メール環境にない会員には印刷して配布している。
- ・メールでの配信のみ。
- ・会員に直接届けることが重要。
- ・パソコン、メールを前提とした運用を考えてほしい。
- ・最近ではスマホも普及している・・・スマホでは見づらい。
- ・紙配信、月1回発行の議論はちょっと古臭い。

④ まとめ

- ・ちばニュースは、組織の情報伝達、記録として必要。
- ・月1回の発行の要望が多い。
- ・必要な情報を提供すれば、面白くなくても良い。
- ・理事会で、ちばニュースの感想と次号への内容を議論する時間をとる。
- ・紙ベースから電子ベースへの変更も出された。加盟会や会員の現状を判断すると時期尚早であるが、電子ベースへの変更を視野に入れた検討も必要である。

議事録作成 伊東教遭委員長

(文責 広木)

千葉県連 「交流山行」の案内

2018年3月の定時大会を受けて、4月県連理事会で今年度の重点活動を提案し確認された。その中で、ちばニュースの課題解決にむけて「ちばニュース交流会」を実施して取り組んでいる。そして9月理事会で、「交流山行実施」の実施を提案した。
(千葉県連、今年度の重点活動は「ちばニュース・5月号」理事会報告を参照)

・県連レベルの交流山行実施案内

第1回は、ちば山の会からの呼びかけで下記のとおり実施する。詳細については後日担当リーダーから案内をします。

各会におかれましては、実施の主旨を会員にお知らせ下さい。

記

- | | |
|--------|---|
| 1、実施日 | 2018年11月3日（土）・4日（日） |
| 2、場 所 | 奥多摩 三条の湯（小屋泊・テント泊） |
| 3、コース | 1日目 奥多摩駅～お祭り～後山林道～三条の湯（泊）
2日目 三条の湯～サオラ峠～天平尾根～親川～奥多摩駅
特に変化のあるコースではないが、樹林の中の尾根道は紅葉を楽しみながら、ゆっくり歩けるでしょう。 |
| 4、問合せ先 | ・ 鶴田副理事長 (tsuruta@ka2.so-net.ne.jp)
・ 菅井自然保護委員長 (fa23475@wa3.so-net.ne.jp) |

東葛山の会 **南アルプスの女王「仙丈ヶ岳」**に登る

東葛山の会 羽鳥健一郎

東葛山の会は昨年 40 周年を迎えました。現在会員は 52 名で平均年齢約 71 歳です。毎月会報「やまびこ」を発行し 9 月号は「No.490」を数えます。会山行は年間の「山行予定表」に従って毎月「(やや) きつい山」「(やや) ゆるい山」の 2 回の山行と「ウォーキング」(年 9 回)が開催されています。会員は年 2 回いずれかの月を担当します。4、5 人が一組となり計画書を作成し 3 か月前に山行部会に諮り実行しています。

8 月の「(やや) きつい山」の「仙丈ヶ岳」の報告を以下に記します。

日時：8 月 2 日(木)～3 日(金)

行先：仙丈ヶ岳(3,302m) テント泊(北沢峠、長衛小屋テント場)

参加者：10 名(女子 6 名、男子 4 名)

天気：二日間とも快晴

日程及びコースタイム：

(第 1 日目)

船橋 6:53(あずさ 3 号)―甲府 9:07

バス甲府駅南口 10:05―広河原 11:58/12:30―北沢峠 12:55

・・・・長衛小屋テント場 13:15

(第 2 日目) 歩行時間約 8:45(休憩含む)

起床 4:30 朝食 5:00 登山口 6:00―大滝ノ頭―藪沢小屋―馬ノ背ヒュッテ―

仙丈小屋―仙丈ヶ岳 11:05―小仙丈ヶ岳―大滝ノ頭―北沢峠―登山口 14:45

バス北沢峠 16:00―広河原―(タクシー)芦安(日帰りの湯)―甲府 18:45

甲府始発 18:56(かいじ)―新宿 20:37―鎌ヶ谷

今回の山行は「テント泊」が一つのテーマでした。テント泊初体験の人もおり、夏山で水が豊富、テント場が充実し、南アルプスの百名山ということで仙丈ヶ岳となりました。当初は 2 泊で甲斐駒ヶ岳も含めて検討しましたが人数が多いこと参加者の年齢も考慮し一座に絞りました。6 月末に会備品のテントをチェックしたら劣化したものや一部破損し使えないものもあり個人、会合わせて 5 張を用意しました。

7 月の例会前には食事の打合せをし経験豊富なメンバーのアドバイスもあり今回は「スキ焼&サラダ」となりました。

第 1 日目、真夏の甲府駅に到着。駅前からは遥かに甲斐駒ヶ岳が霞んでおりました。1 時間ほどバスを待ち出発。平日のせいかバスもゆっ

たり着席。各自車内で軽い昼食を済ませ、広河原で村営バスに乗り換え北沢峠へ到着したのは13時前。共同装備でリュックはそこそこ重い。がテント場まではわずか15分ほど。水があふれる長衛小屋テント場は一人500円。手続き後、早速テント5張りを完成させました。その後テント場の傍を流れる川の音を聞きながらお茶で一息。テント場からは甲斐駒ヶ岳の頂を見ることが出来ました。その後手分けして夕食の仕度へ。時間も十分にあり、また手慣れた料理人が多く「スキ焼」「サラダ」「焼きナス」「ご飯」と次第に夕食の品々が出来上がりました。因みに翌日の朝食はスキ焼の残りでオジヤ、昼食はオニギリ。各自持参のアルコールもあり豪華なスキ焼の夕べとなりました。川の流れて麩も吸収されゆっくり就寝となりました。



第2日目。4時には起床。お湯を沸かし朝食準備。卵入りのオジヤやみそ汁で腹ごしらえし6時出発。30分に一回休むゆったりペースで進みました。下山の人も多く山の情報を聞きながら次第に高度も上がっていきました。大滝ノ頭で大休止。右に曲がり藪沢小屋を經由し馬ノ背ヒュッテをめざしました。時折吹く涼しい風に助けられ順調な登りとなりました。馬ノ背ヒュッテを過ぎ、振り返るとアルプスの団十郎と異名を持つ甲斐駒ヶ岳の雄姿がくっきりとしてきました。南アルプスの女王と言われる仙丈ヶ岳の嫺やかな稜線も迫ってきました。雷鳥

を見たよとの情報もありましたが・・・。頑張って仙丈小屋に到着。ここでお昼をとりましたが冷たい水が美味しかったこと！シッカリ水分補給していよいよ山頂アタック。

30分ほどで無事山頂到着！南アルプスが初めての人もいましたが天気にも恵まれて仙丈ヶ岳からの眺めを十二分に堪能できました。記念写真を撮り下山開始。



名にし負う仙塩尾根の標識を見やり小仙丈ヶ岳に向かいました。左手に甲斐駒ヶ岳、右手に北岳を見ながらの贅沢な下山でした。また下山時の左右のカールも大きく素晴らしかったです。

次第に眼下には箱庭のようなカラフルなテント場も見えてきました。大滝ノ頭に着き一安堵しその後は一気呵成に北沢峠のテント場に向かいました。下山後、テントを撤収し無事に最終便の16:00のバスに乗り広河原へ。広河原からは予約したタクシーで日帰りの湯で汗を流して甲府へ向かいました。甲府始発の「かいじ」に間に合いゆったりと帰路につくことが出来ました。

天気は快晴、南アルプスの女王はご機嫌麗しかったです！

- ・楽しかった山行、苦しかった山行を、県連の仲間に紹介して下さい。
- ・ヒヤリハットの投稿を歓迎します。他の会の事例に学ぶ事で事故防止に役立たせて下さい。

死亡事故が連続発生

安全登山にむけた緊急アピール

2018年8月31日

日本勤労者山岳連盟 理事長 浦添嘉徳
遭難対策部長 白井邦徳

労山内の死亡事故は、今年に入って7月までゼロのまま推移してきました。しかし残念なことに、8月に入って下記のように、3件4人死亡の事故がたて続けに発生しました。

- 1、8月12日（日）14:00 新潟県苗場山南面／赤倉山・サゴイ沢
事故者が8m滝をトップで登攀中、トラバース途中でバランスを崩して滑落により死亡。男性（64歳）。遺体に目立った外傷は見られなかったとのこと。
- 2、8月13日（月）12:25 北ア／劔岳・早月尾根
悪天のため登頂を断念し、下山中に先頭を歩いていた事故者がつまずき、滑落。頸椎骨折により死亡。男性（78歳）
- 3、8月26日（日）午後 奥秩父／飛龍山・大常木（おおつねぎ）沢
沢登りをしていた男性から「男女2人が沢で流されて沈んだのを見た」と警察に通報があり、捜索したところ、遺体（男性57歳、女性48歳 二人は夫婦）が発見された。

この4名は、いずれも労山東京都連盟に所属する会員です。

3件の事故原因は、

- ①、山での突発的身体症状（突然死）も考えられる。
- ②、事故者が高齢で、背景としてのバランス能力低下が考えられる。
- ③、悪天候による増水が想定される。

◆ 緊急アピールが出された直後に、以下の重大事故が連続した。

- ・9月17日（水）午前 奈良県十津川村 芦廼瀬川
沢登り中、大阪市堺市 女性（42才）が転落し、救助に行った兵庫県宝塚市 男性（53）も転落し行方不明になった。捜索を続けたが水量が多く、19日に死亡が確認された。
- ・その他にも死亡事故 2名 行方不明1名 が発生している。

（詳細については、県連理事会、ちばニュース11月号で報告します）

各会は、事故例に学び重大事故を絶対に起こさない対策の検討をお願いします。

（文責 広木）

2018 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨に開催します。

今回は場所を「富津市民の森」に変更し、全国遭難対策担当者会議の資料を題材に進めていきます。また国際山岳看護師の講演もありますので、各会の積極的な参加を期待します。詳細は下記を参照下さい。

記

- 1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会
- 2) 日時／場所 11月10日(土)13時-11日(日)12:00 終了
10日<12:00 管理棟にて受付開始>
富津市民の森 千葉県富津市豊岡 2785-1 0439-68-0929
- 3) 内容 11/10 ①今年度の事故に関する報告 13:10-13:50
まつど遠足クラブ、船橋勤労者山の会、かがりび山の会、
千葉こまくさ HC
②全国遭難対策担当者会議報告 13:50-14:20
③全国事故事例のディスカッション 14:30-15:30
4班に分かれて二つの事例を議論する。
事例1：野火止山の会の事故
事例2：持病のある人に対する対応
④事例研究発表準備 15:30-16:20
⑤国際山岳看護師の講演 16:30-17:30
⑥夕食／各会紹介／交流会 18:00-21:00
11/11 ⑦事例研究発表 8:00-11:30
各班は、7点セット、医療品、ツェルトを使用して救急法、搬送法、
ロープワーク、救助要請、ビバークなどを順番に実演する。
- 4) 参加費 2,000円/人。交通は各会毎に。 単日での参加可<費用500円>。
- 5) 装備／食事
各会毎：7点セット(スリング60cm2本、120cm1本、
カラビナ3<うち環付き1>、補助ロープ6~8mm*10m)、ツェルト、
飲み物、食材(炊事場・食事卓は外のキャンプ場)
各自：座布団(会議室の椅子は木製)、シュラフ一式。
- 6) 宿泊設備 バンガロー、コインシャワー有り。
- 7) 実施規模 40名程度(スタッフ含む)
- 8) 参加申込／締切 申込書添付にて教育遭難対策委員会 廣川：hirokawa2583@yahoo.co.jp
090-6122-8354 10/28 締切
会場の都合上、申込多数の場合は、調整する事が有ります。
- 9) 問い合わせ先 教育遭難対策委員会 伊東：itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384

「国際山岳看護師みっちゃんの活動報告（２） ～雲の上の診療所～」

山の会「岳樺クラブ」 小林 美智子

今年も「山の日」の前後に、慈恵医大槍ヶ岳診療所で山岳看護師活動をさせていただいたので、報告します。



「ちばニュース」を読んでいる方のほとんどが、登山者だと思うので、皆さん山岳診療所の役割は登山者の為と考えるのではないのでしょうか。もちろんその通りです。そして、隣接している山小屋の方々の健康管理も山岳診療所の大事な役割です。山小屋のスタッフの方々は、強靱な体力の持ち主ばかりですが、山小屋での滞在が長期間になり、ほとんど休みはありません。仕事は、宿泊設備の準備、食事の提供、登山道の整備、搜索救助活動…やる事はいっぱい、槍ヶ岳山荘の場合、宿泊人数は400人（定員）なので、それはそれは大変です。槍ヶ岳診療所には、槍ヶ岳山荘のスタッフさんだけでなく、周囲の山小屋の方でも体調不良や怪我などがあれば来所されています。

また、診療所で診察した高山病の方の処置として標高を下げる必要がある場合に、急遽にもかかわらず殺生小屋では快く受け入れてくれました。槍ヶ岳診療所は、昭和25年から毎年開所しており、山小屋と長年に渡り山の安全を担ってきたからこそその信頼関係だと感じました。

診療所にいる期間中に、ヘリコプターでの荷揚げがありました。荷揚げされた荷物の中身を見ると、ビールの量の多さに驚かされました。

憧れだった槍ヶ岳に登頂・小屋入りし「カンパ～イ！」「うま～い！」・・・その後、バタンキューでグ～グ～zzz

はじめに山岳診療所について紹介しますと、山岳診療所は、多くのボランティアのお医者様や看護師、学生達によって、成り立っています。上高地診療所を除いたほとんどが夏季限定で、槍ヶ岳診療所の場合（2018年）は、7/23(土)から8/22(月)まで開所していました。



しかし、起きたら顔面蒼白。気持ち悪く。
すっかり高山病になっているという
パターンが非常に多いです。

脱水状態でのビール（＝アルコール）は
危険なんです。

なぜか？

まず、アルコールは呼吸を抑制する（回数を減らす）
作用があります。

また、利尿作用があるため水分補給になるどころか、
脱水を誘発してしまいます。高所ではアルコールの
回り具合が下界とは違い、一般的には回りやすくな
ります。

さらに、環境や登山の疲れもあって、すぐに寝て
しまいがちですが、寝る事で呼吸の回数が減ると
ともに、浅くなってしまいます。

この結果、皆さんご存知の高山病になってしまいま
す。

また、夏休み期間中ですのでお子さんを連れて登山
されている方を多く見かけました。

槍ヶ岳まで来る子供たちは、それなりの登山経験が
あるのですが、行程が長いのでかなり疲れています。

そして、子供は大人よりも高山病になりやすく、
到着して疲れて寝落ちてしまった子供が、
何人も高山病で診療所にきていました。

お子さんも疲れているでしょうが、
到着してすぐに寝ないように大人が
注意して看っていてあげてください。



高所で楽しく過ごすアドバイス

**大人も子供も、高所に着いてすぐに、横にならない(寝ない)、走らない、
小槍の上でアルペン踊りを踊らない(笑)。**

**たとえ疲れていても、身体が冷えないようにし、
脱水を回復させるために水分をしっかり摂り、皆で座ってお話をするとか、
写真を撮るとかして消灯までゆったりと過ごしましょう。**

お楽しみのビールは、ほどほどにしてくださいネ。

海外委員会だより

1) タイ「チェンダオ山」登頂と古都アユタヤ・バンコク観光

『参加者説明会』を次の日程にて開催します。ご参加ください。

- ① 日時：2018年10月11日（木）午後6時45分～8時45分（2時間）
- ② 会場：船橋市西部公民館 2階 第4会議室
- ③ アクセス：JR総武本線『下総中山』駅より徒歩約7分
または、京成本線『京成中山』駅より徒歩約7分
- ④ 持ち物：旅行会社から届いている書類全部、筆記具

※参加者全員に、既にメールにて案内済みです。

※登山に参加されない方でも関心のある方は、是非ご参加いただきたいと思います。

2) 海外登山活動に関するアンケート調査 集計終了！

『海外登山活動に関するアンケート調査』に、9月7日（金）までに、県連に登録しています『17会』全ての会から『130件』の回答が寄せられました。

ご協力いただきましてありがとうございました。

設問の仕方に不備な点があったためか、同じ内容であっても回答記述が多岐に亘り集計する際に悩む場面が数多くあり、纏められない回答については全て、回答記述と同じ表示にしました。その結果、行数が増えました。

また、回答の『エリア』や『山名』等について、インターネットでヒットしなかった場合は、回答記述と同じ表示にしました。

現在、集計内容を再確認中です。確認が終了次第、各会の代表者及び理事さんを通して、集計結果をメール配信する予定です。

集計結果を参考に、今後の海外登山の『エリア』や『山』を選定していきたいと考えています。

『海外委員会』へのご意見・ご質問等をお待ちしております。

<問合せ先> 安彦秀夫（東葛山の会）E-メール：mt25hm4abichan49@gmail.com

第 21 回 全国ハイキング交流集会 報告

ハイキング委員長 桑原 年一 (松戸山の会)

日 時 2018 年 9 月 15 日 (土)、16 日 (日)

場 所 伊豆 長岡 いづみ荘

参加者 14 県 29 会 75 名 宿泊 51 名 千葉県 3 名 (松戸 2、あびこ 1)

当初心配していた参加者はほぼ達成しました。北海道 1、九州 2、も参加。

15 日 (土) 曇り小雨

13:00 開会 ハイキング委員長 石川氏、静岡県連理事長 斉藤氏 挨拶、
記念講演 「火山の恵みとその危険性」

講師 島村英紀先生 (地球物理学者、元、北海道大学教授)

火山によって恵みもたくさんありますが、地震予知、や噴火予知の難しさ、
地震国、火山国に住む私たちは「覚悟と知恵が」必要です。

その他色々の例を挙げて 1 時間半以上の講義を聞きました。

終わって次に 3 班に分かれて分散会に移りました。

私は第一分会 石川氏、吉田氏、班に参加しました。

各県、会の現状報告。続いて要望、主に如何にして会員を増やすか、また引き
とどめるかなど、どこの会も同じ悩みがある様でいつもと同じ事のように感じま
した。各会の代表者が来て活発な意見を述べていました。

17:30 終了、18:30～夕食交流会 終わって各部屋での懇親会になる。

何故か我が部屋 306 号室に入りきれないほどで始まる。寝不足気味。

16 日 (日) 小雨後晴れ間

7:00 朝食 8:30～10:10 分散会討論、(昨日のつづき)

10:15～10:30 全大会 各分散会の報告、閉会式 解散

11:00～交流ハイキング各コース出発。一部は雨のためコース変更。

私は雨模様でもあるし車で参加したため、葛城山ハイキングはパスして、旅館
の裏の源氏山公園まで往復歩き (眺望はいまいちでした) 帰路につきました。



交流会風景



熱心に勉強中

深草 茂美（岳人あびこ）

去る 9/15（土）、9/16（日）の 2 日間、静岡県伊豆長岡で開催された「第 21 回 全国ハイキング交流集会」に、個人都合により一日目だけに参加しました。一日目 9/15（土）のプログラム「石川労山ハイキング委員長 基調報告」「講演会 火山の恵みとその危険性」「分散会討論」について、参加した感想を以下に報告いたします。尚、当県連からはハイキング委員会委員長桑原夫妻と私の 3 名が参加しました。委員長夫妻は両日参加です。

・「石川 全国ハイキング委員長 基調報告」

ハイキング分野の課題のである会員減少と高年齢化について、2018 年 2 月開催の「全国労山第 33 回総会」で報告された、各県連からの具体的な活動報告の紹介がありました。会員減少と高年齢化は日本勤労者山岳連盟においても、課題として共通認識されている事、そしてこの課題に対して各山岳会において真剣な取組を行なっている事を認識しました。私の所属山岳会においても同様の課題があるので非常に参考となる報告でした。

・「講演会 火山の恵みと危険性」講演者：地球物理学者 島村英紀先生

日本が火山国であることを地質学的なメカニズムから解説。最大級の火山噴火（カルデラ噴火）は文明をも途絶えさせる力があり、日本でもすぐにでも起こりうる事を、世界各地や日本での過去の火山噴火事例から解説。しかし現状は、火山の運動方程式がみつかっておらず、且つ観測地点も少ないので火山噴火予知は困難である事。一方では日本の火山地形は、良好な気候を作り、温泉、ふもとの大量湧水、良質な水等々、多くの恩恵を与えている。以上の講演内容を興味深く拝聴させて頂きました。また「私たち日本人は地震国・火山国に住む覚悟と知恵が必要」との先生の結びの言葉は心に響く物が有りました。

・「分散会討論」

北は北海道、南は九州からの参加者 70 余名が 3 会場に分かれて自由討論をしました。私は桑原さんと同じ会場での討論会に参加しました。まずは参加者が各所属会の組織と活動状況を説明しました。桑原さんは、千葉県連ハイキング委員会の活動状況の説明もされました。その後基調報告を受けて、課題として共通認識されている高齢化と会員減対策について各会での活動状況や参加各位の認識等の意見交換がありました。各山岳会においても、この課題に対して努力されていて、効果を上げている会もあり、参考になる意見を拝聴させて頂きました。この日は一日目であることもあり議論の纏めはありませんでした。おそらく二日目は何等かの形で意見の集約があったと思われます。二日目に出席できなかった事は残念な思いでした。また後半、北海道札幌の山岳会の方が討論会場に遅れて到着しましたが、北海道胆振東部地震の影響が収まらない中、駆けつけてくれた事は感動的でした。

・終わりに

私は、初めての参加の為、当初、どんな人達が見えるのか、また討論会で旨く討論に参加できるのか不安が有りました。しかし集まってくる人たちは、私とほぼ同年代かそれ以上の方々ばかりで、当然ですが、山が好きな方ばかりでした。その為会場へ入るとすぐ心開ける思いになりました。プログラムが進み 1 日目の分散会討論終了までには、すっかり緊張もほぐれ、1 日だけの参加が惜しくなり後ろ髪を引かれる思いで会場を後にしました。

—以上—

千葉県連加盟会代表者 様

千葉県勤労者山岳連盟
会 長 広木 国昭

第 17 回全国登山研究集会（愛知県）参加のお願い

日頃 千葉県連盟活動に参加・級力をいただき有難うございます。
千葉県連では、定時総会で提起しました幾つかの課題を解決し、次世代に引き継げる組織づくりに理事会を中心になって取り組んでいます。

つきましては、会代表者、会員の皆様のご意見、ご要望をお寄せください。

さて、全国連盟は下記要綱により「全国登山研究集会」を、愛知県で開催することになりました。「全国登山研究集会」の実施目的は、労山組織の現状を見直し、登山本来の目的を達成し多くの仲間を迎える事です。

これは、千葉県連が実施しようとしている事、実施しなくてはならない事とまったく同じです。千葉県連から多数の参加者を送り全国の仲間と交流しその経験に学びたいと思います。

つきましては、下記のとおりご案内をいたします。
各会に置かれましては、会員の皆様に呼びかけて多数の参加をお願いします。

実 施 要 綱

テーマ 誰もが登山できる喜びを広げ、登山文化と労山運動を次世代に継承し発展させよう！

目 的

労山は、登山・ハイキングの素晴らしさを多くの人々に健康で文化的なスポーツ・レクリエーションとして普及・発展をめざし、労山運動を行ってきた。

いま、多様に発展した労山の登山活動で、遭難事故を防ぐ登山技術の継承や、会員の楽しい活動で、若者や未組織登山者のさまざまな登山要求に応えていくことが求められている。会員の情熱とエネルギーが、そうしたことに向けて発揮されるならば、労山はさらに大きく発展することができる。

そこでこの集会では、①会員誰もが登山できる喜びが得られる仲間づくりを目指す、組織の拡大・強化、②遭難事故のない登山を追求し、それを実現する登山技術と登山文化の継承、③登山者の多様な登山要求に応える活動などについて、全国各地の会・クラブや地方連盟の日頃の優れた実践と成果を交流・共有し、今後の労山運動の発展につなげる集会とする。

この集会に千葉県連から一人でも多くの会員の参加をお願いします。
全国連盟や各地方連盟の活動に接し、多くの会員との交流も楽しいと思います。

・ご意見・問い合わせは 千葉県連会長 広木 国昭までお願いします。

記

- 期 日 2018年11月23日(金・祝日)～24日(土)
- 会 場 愛知県民の森 モリトピア愛知(宿泊施設名) 愛知県新城市
- 参加対象 労山会員および全国の登山者
- 主 催 日本勤労者山岳連盟
- 主 管 全国登山研究集会実行委員会・愛知県勤労者山岳連盟
- ・日 程
- 23日 12:30 受付開始
- 13:00 開会あいさつ
日本勤労者山岳連盟理事長あいさつ
- 13:10～ 記念講演「K2からシリアへ」
—8000mのビバークから見えてきたもの—
講師：小松 由佳 氏(登山家・写真家・労山カレンダー選考委員)
1982年秋田県生まれ。2006年、“世界で最も困難な山”
世界第二の高峰K2(8611m)に日本人女性として初めて
登頂。人間の暮らしに惹かれ、草原や沙漠を旅する
うちフォトグラファーを志す。2012年からシリア内戦
取材し、シリア難民の今を伝える活動を行う。
- 14:30～ 休憩
- 14:50～ 基調報告
・集会の意義目的と組織強化拡大・次世代育成について
- 15:50～ 活動報告 連盟及び加盟団体の活動：6団体程度予定
・会クラブの組織強化・次世代育成など優れて実践経験
- 18:00 第1日目閉会
- 18:30～ 夕食・交流会 20:30～宿泊施設で各自交流
- 24日 7:00～8:00 朝食
- 8:30～11:30 分科会
- 11:30～12:00 全体でまとめ集会・解散
- 分科会
- 1 「労山の組織強化・拡大、次世代育成」
 - 2 「登山のための筋力維持と強化」
 - 3 「安全登山」
 - 4 「若い世代の交流」
 - 5 「大開発による山岳自然破壊とどのように向き合うか」
—リニア新幹線による南アルプス等の自然破壊の実態等—
- 参加費用 一泊二食での参加 8,500円
※日帰り参加一日も二日も 500円(資料代)
- 宿 泊 愛知県民の森 モリトピア愛知
- 問合せ先 労山全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331
FAX 03-3260-6331 E-mail jwaf@jwaf.jp
- レポート提出 9月30日(日)迄
- 参加申込締切 10月25日(木) 全国連盟事務局まで、

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

◎ 県連盟事務所

〒262-0033

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101 号室

TEL・FAX： 043-306-1190

Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp

JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分

（県連事務所に常駐者はいません）

ご意見・問い合わせは、下記をお願いします。

- ・千葉県連ホームページ：

事務局への問い合わせ

- ・Eメール：dabphiro@zpost.plala.or.jp

◎ 会員の事故一報送付先

Eメール：教遭委員長・伊東 春正

：itou2385@yahoo.co.jp

FAX：教遭副委員長・広川 登志男

：043-36-7219

全国連盟事務局にも必ず送付する事

Eメール：jwaf@jwaf.jp

FAX：03-3235-4324

◎ 連盟費振込み先

郵便振替口座

00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

◎ 「ちばニュース」

・原稿送付先

・ご意見・問い合わせは

発行責任者：広木 国昭まで

dabphiro@zpost.plala.or.jp

◎ 千葉県連の支援活動について

支援活動は、各会で計画・実施

をお願いします。従来どおり、

高速代・宿泊費補助をします。

（事前に一報をお願いします）

◎ 支援海産物販売のお知らせ

夏場は休んでいましたが涼しく

なったので開始しています。

問合せは：広木まで

出来る時に

出来る人が

出来る事を

danphiro@zpost.plala.or.jp まで

【編集後記】

- ・第17回ふれあいハイク が台風のため中止になりました。

ふれあいハイクは、障千連（障害者の生活と権利を守る千葉県連絡協議会）と協力して取り組んでいる伝統行事です。障害者が自然とふれあい、ハイキング等を楽しむ権利を守るお手伝いしています。

実行委員・当日のサポーターとして参加・協力をいただいた会員の皆様にお礼を申し上げます。次回もご協力をお願いします。

- ・会山行・個人山行報告を投稿して下さい。

ハイキング等、日帰り山行報告を歓迎します。気楽に投稿して下さい。

ワードでA4・2ページ位、明朝 12m 写真2・3枚 余白・全て25m 特別な加工はしないで結構です。

- ・全国登山研究集会への参加をお願いします。

現在、千葉県連からの参加者は3名です。全国からの参加者との交流、全国連盟は何をやろうとしているのか等、この機会に経験して下さい。

参加すれば何かを感じる事が出来ると思います。

県連活動予定表

11		行事予定	10		行事予定
1	木	全国組織部	1	月	県連役員会
2	金		2	火	
3	土		3	水	
4	日		4	木	全国組織部会
5	月	県連役員会	5	金	
6	火		6	土	
7	水		7	日	
8	木		8	月	
9	金		9	火	
10	土	事故防止経験交流集会	10	水	
11	日	(富津市民の森)	11	木	
12	月		12	金	
13	火		13	土	
14	水		14	日	
15	木	県連理事会	15	月	
16	金		16	火	全国役員会
17	土		17	水	
18	日		18	木	県連理事会
19	月		19	金	
20	火	全国役員会	20	土	
21	水		21	日	
22	木		22	月	教遭委員会
##	金	全国登山研究集会	23	火	
24	土	(愛知県)	24	水	
25	日		25	木	全国理事会
26	月	教遭委員会	26	金	
27	火		27	土	
28	水		28	日	
29	木		29	月	
30	金		30	火	
			31	水	

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張台 101号室
 TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)
 発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)
 問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで